

風しんの追加的対策

風しんは、風しんウイルスによる感染性の疾患です。一般的にかかった本人は比較的軽症な場合が多いのですが、問題は、妊娠初期の女性が風しんにかかると、お腹の赤ちゃんに感染が及び「先天性風しん症候群」（CRS）が発生する可能性が高くなるということです。

CRSは、生まれてくる赤ちゃんに先天性心疾患、難聴、白内障などの障害を引き起こします。妊婦になったときに風しんにかからないようにする、周囲の人が妊婦に移さないようにする、そして生まれてくる子どもたちをみんなで守るということが風しん対策です。

昨年の夏頃から、今年にかけて成人男性を中心とした風しんの流行がありました。9月末現在、全国の風しん患者数は2,222人で、そのうちの約8割は男性です。特に、40代が多いという報告がありました。

風しんを予防する効果があるのが、予防接種です。これまで定期予防接種の機会がないまま大人になり、最近の流行の中心となっている「昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の男性」には、風しんの抗体検査と予防接種が無料でできる「風しんの追加的対策」を今年度から3年間に限り実施しています。

今年度の対象は「昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性」で、対象の方には、町から「クーポン券」を送付しました。はじめに抗体検査を受け、抗体が不十分な場合は、予防接種を無料で行う事ができます。（約10,000円相当）

なお、昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれの男性は、来年度以降になります。

大人になってからの風しん流行を防ぐとともに、パートナーや友人、同僚など、周囲にいる妊婦への感染を防ぎ、元気な赤ちゃんが生まれてくるよう、検査や必要に応じた予防接種を受けていただきたいと思います。

健康福祉課 保健師



学校コーナー



五霞西小学校

地域の皆様をお招きし 西小まつりを開催

10月26日、保護者や地域の皆様のご協力により、今年も西小まつりが盛大に開催されました。

開会行事では、会場全員で『もみじ』を合唱しました。

さらに、毎日の登下校でお世話になっているスクールガードの皆様にも、ささやかながら、感謝の思いを伝えることができました。

そのあと一、二、三年生がダンス「レモン」「パプリカ」を元気に踊りました。つづいて、四、五、六年生が音楽会に向けた練習の成果を発揮し、合唱曲『ふるさと』そして合奏曲『Let It Go』をそれぞれすばらしい音色で披露することができました。

そのあとの学年発表では、それぞれ工夫を凝らしたさまざまな催し物を披露し、見学に来られた皆様にも楽しんでいただくことができました。

担当の児童たちも、来場された方々にていねいに説明をしたりしながら、楽しく活動できました。



お昼は、PTA役員の皆様さらに町青少年相談員会長の鈴木昇さんのご協力で、前日の仕込みから当日の調理、配付にご尽力いただき、「けんちん汁」「からあげ」「飯」をおいしくいただきました。ちなみに「飯は、五年生たちが学校農園で作ったお米を炊いてお配りしました。午後からの芸術鑑賞会では、TEAMパフォーマンスラボ」による楽しくすばらしい演技などを鑑賞することができ、児童も、充実したひとときを過ごすことができました。

PTA役員の皆様、地域の皆様方には、たいへんお世話になりました。今後も本校児童の安全・安心な教育活動へのご支援、ご協力をお願いいたします。